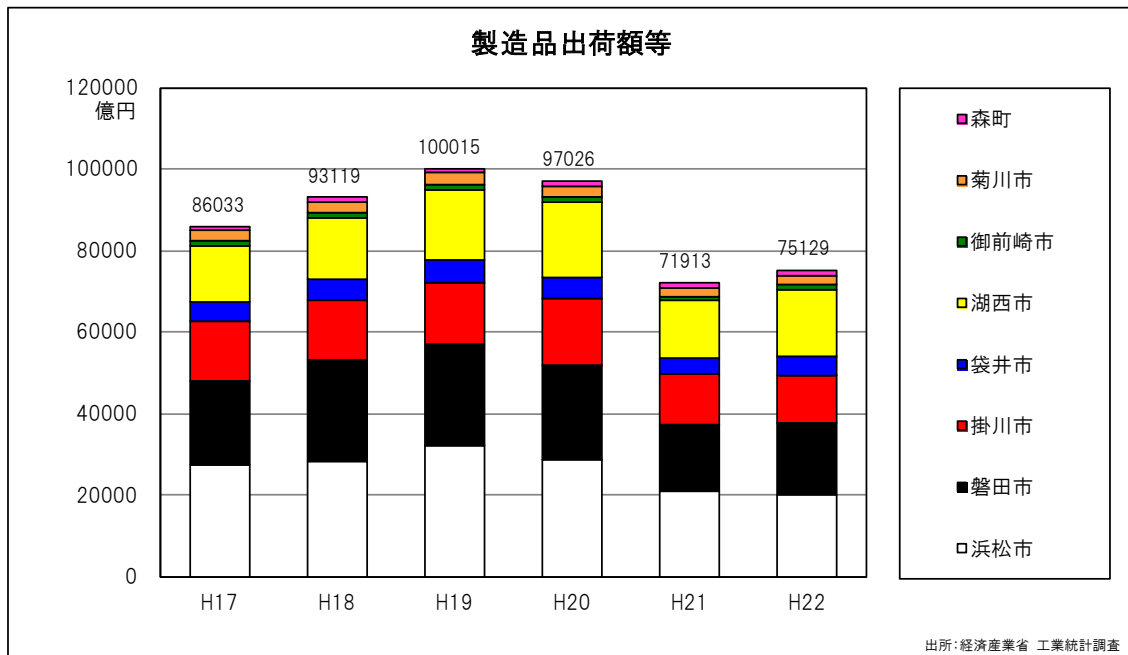
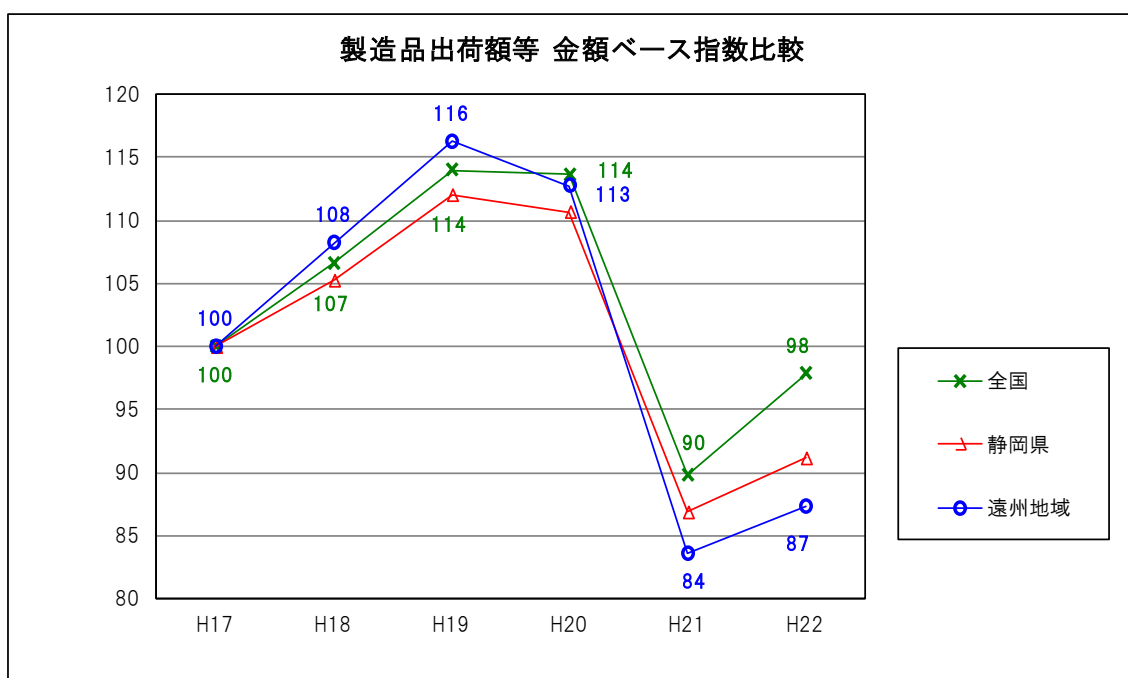


【グラフ①】



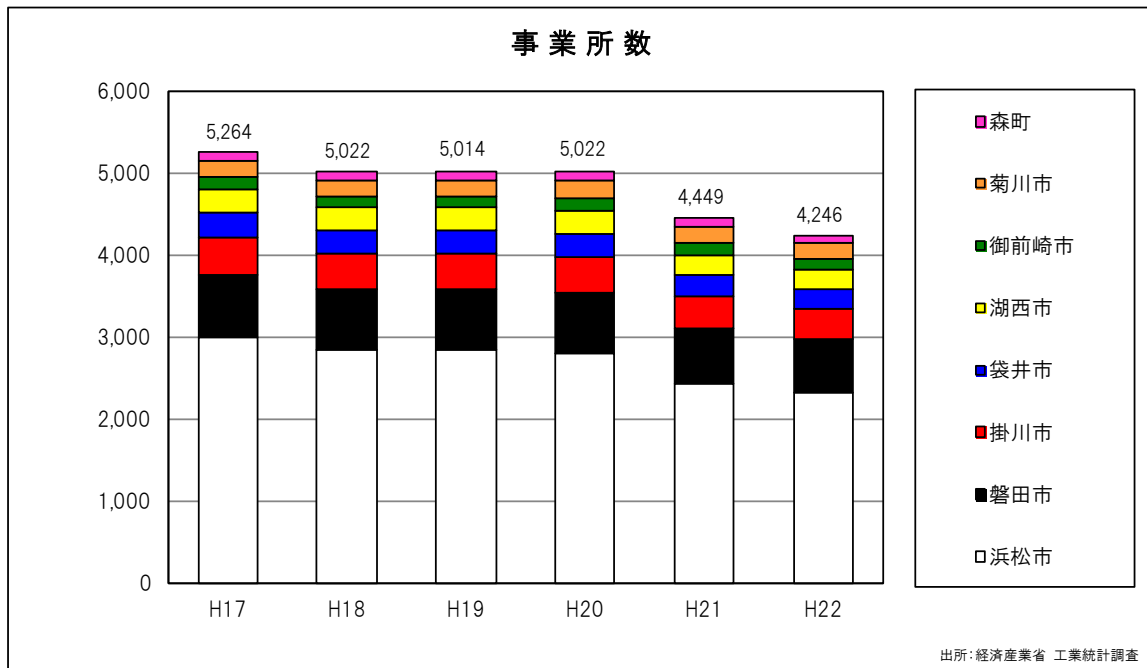
グラフ①は静岡県遠州地域の製造品出荷額等の推移を示したグラフです。平成19年には10兆円を超えましたが、リーマンショックは当地域においても甚大な被害をもたらしました。被害が本格化した平成21年は7.1兆円にまで落ち込み、前年比で25%もの減少となりました。平成19年～平成21年の2年間で2.8兆円が減少いたしました。ようやく平成22年になって減少に歯止めがかかりましたが、平成19年と比べて2.4兆円が戻らない状況となっております。

【グラフ②】



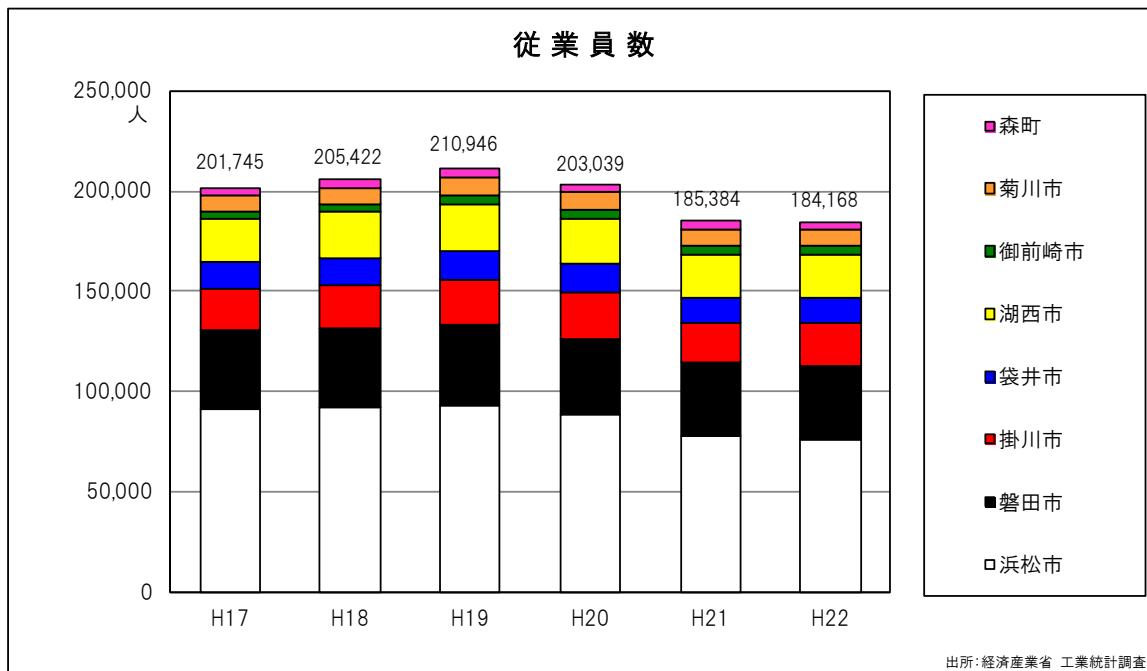
グラフ②は平成17年の製造品出荷額等を100として全国、静岡県、当地域を指数化したものです。当地域は平成19年まで全国や静岡県をしのぐ増加ペースで推移してきましたが、リーマンショックによって全国、県よりも大きな落ち込みとなりました。ようやく平成22年には減少に歯止めがかかりましたが、当地域の回復ペースは全国や県と比べて鈍い状況にあります。

【グラフ③】



グラフ③は事業所数の推移を示したグラフです。事業所数はリーマンショックを待たず平成 18 年にはすでに減少となりました。平成 20 年まで横這いが続いたものの、製造品出荷額と同様にリーマンショックを境に大きく減少いたしました。平成 22 年には製造品出荷額等は減少に歯止めがかかりましたが、事業所数はいまだに減少が続いております。

【グラフ④】



グラフ④は従業員数の推移を示したグラフです。従業員数は平成 19 年の 21.0 万人となりましたが、製造品出荷額同様、リーマンショックを境に従業員数は減少しました。リーマンショックの余波が本格化した平成 21 年には 18.5 万人と前年比で 1.7 万人(8.6%)の雇用が失われました。平成 22 年になっても減少が止まらない状況が続いております。